

3-A-b 現役クロマツの巨木

■現役クロマツの巨木評価。

- A 幹周おおけね 7m 以上の単幹樹、同等評価のクロマツ。
- B 幹周おおむね 5~7m の単幹樹、同等評価のクロマツ。
- C B 以下のクロマツ

■現役クロマツの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹 周	樹高	所 在 地	天然記念物 指定
A	地藏大松 写真 KM-15	M7.35m(1.0m 2008)	20m	三重県鈴鹿市南玉垣町	県
B	久遠の松 写真 KM-16	M5.39m(1.3m 2012)	25m	静岡県藤枝市大慶寺	県
B	村雨の松 写真 KM-17	6.0m	16m	新潟県佐渡市両津夷	県
B	小田原城本丸の巨松 写真 KM-18	5.3m	30m	神奈川県小田原市城内 6-1	市
B	親鸞上人腰掛けの松 写真 KM-19	5.8m	30m	富山県富山市浜黒崎	県
B	旭伝院の松 写真 KM-20	5.35m	20m	静岡県焼津市保福島 680	市
B	角力取山の松 写真 KM-21	M5.2m(1.3m 2008)	20m	岡山県総社市岡谷 283	県
B	琴林公園の布袋尊の松 写真 KM-22	5.25m	20m	香川県さぬき市津田町津田	なし
C	住吉神社の二本松 写真 KM-23	M4.4m(1.3m 2007)	24m	石川県輪島市里町南志見	市
C	三内八幡宮のクロマツ 写真 KM-24	4.0m	28m	青森県青森市三内字沢部	なし
C	琴弾公園のマツ 写真 KM-25	M4.70m(1.3m 2015)	13m	香川県観音寺市有明町	なし
C	蓮着寺・袈裟掛の松 写真 KM-26	M4.52m(1.3m 2012)	25m	静岡県伊東市富戸	なし

※全国的にマツクイムシの被害に遭い、巨大なクロマツはほとんど枯死し、幹周 3m 代が元気で多く残っている。これらは C 評価のクロマツであり、本書では割愛した。



写真 KM-015
現役日本一のクロマツ
じぞうおおまつ
地蔵大松

日本一のクロマツ。民家と水田が半々になった新興住宅地に、白砂を敷き詰めた美しい一角がある。傍らに地蔵堂とその拝殿があり、地元の信仰を集め、大切に守られている。地上1.5mで四分岐し、東西22m、南北26mに枝を伸ばして、傘型の美しい樹形を形成している。北幹はすぐに三分岐するが、一本は切断され、一本は南方へ水平に10m以上伸びている。中央の2本は垂直に立ち、その内南幹は4mで二分岐し、水平に枝を伸ばし、支柱によって支えられている。各地の松の巨木が次々と松食い虫の被害にあって倒木していく中、奇跡的に被害を受けずに残っている。



◀写真 KM-016
くおんのまつ
久遠の松

国指定天然記念物でもおかしくない松だ。申請時の幹周が4.5mという。申請幹周が間違っていたようだ。

▲写真 KM-017
むらさめのまつ
村雨の松

海上保安署の前庭にあり、2mで二分岐していたが、一本が伐採されている。



▲写真 KM-018

小田原城本丸の巨松

小田原城天守閣近くに聳える一本松。
衰弱ぎみである。(写真・Web 画像)



▲写真 KM-019

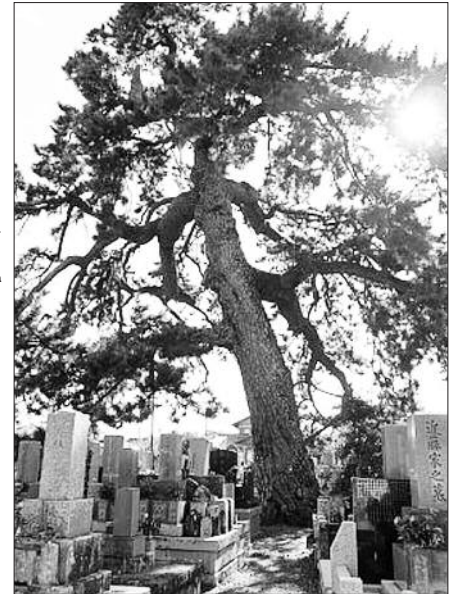
親鸞上人腰掛けの松

藩政時代、街道並木として植えられたものの生き残りか？
(写真・Web 画像)

写真 KM-020▶

旭伝院の松

寺の墓地に立つ見事な一本松である。
(写真・Web 画像)



▼写真 KM-021

角力取山の太松

小高い岡の上に立ち、2m で2分岐、さらに各々2分岐し、見事な枝ぶりをしている。



◀写真 KM-022

三内八幡宮のクロマツ

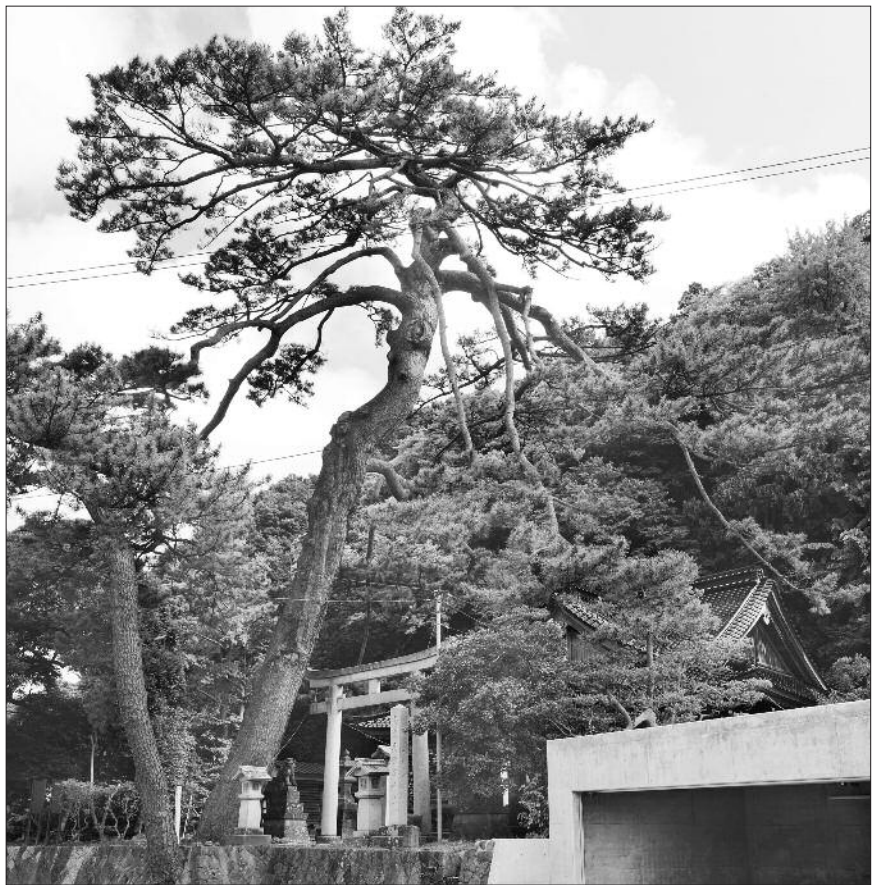
境内の杉林の中にあり、見事な一本松である。
(写真・石田徹)



▲写真 KM-023

ほていそん
布袋尊の松

津田の松原の松林の中に命名されている七福神の松があり、その中の最大株。
(写真・Web 画像)



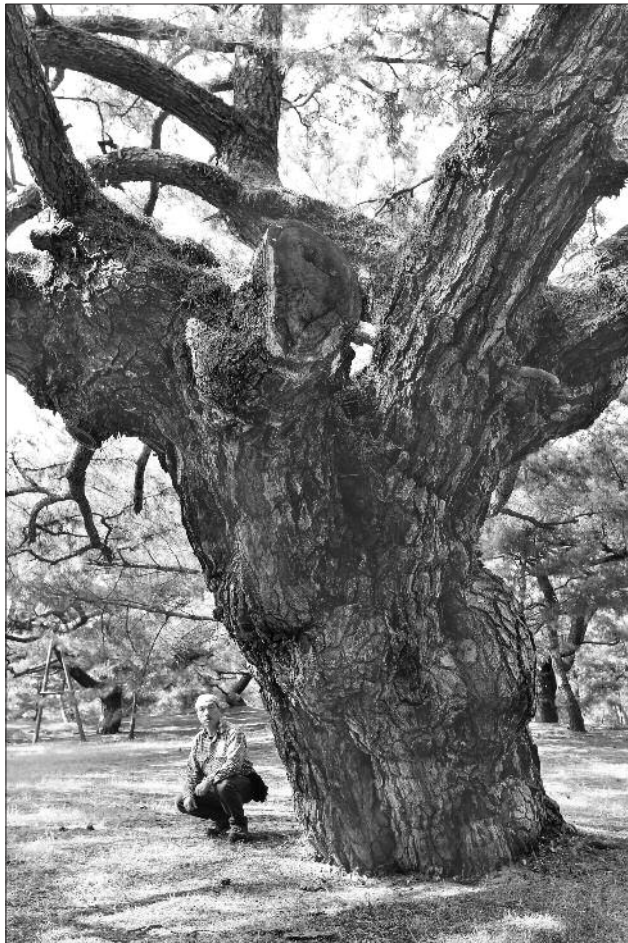
▲写真 KM-024
すみよし にほんまつ
住吉神社の二本松

「里の二本松」「住吉の夫婦松」とも呼ばれている。残念ながら一本は枯死した。道路沿い、神社境内にまるで水墨画のモデルのような優美な樹形を見せている。

▼写真 KM-025

ことひき
琴弾公園の松

公園の中央、駐車場近くにひとときわ巨大なクロマツがある。2m で3分岐し、樹皮が荒々しい。



▼写真 KM-026

れんちやくじ
蓮着寺のクロマツ

蓮着寺は日本一のヤマモモの巨木がある寺で、境内入口からよく見える一本松である。

